

会 議 録

会 議 名	令和6年度山形市健康医療先進都市推進協議会 第2回幹事会
開催日時	令和7年1月16日(木) 午後2時～3時30分
開催場所	山形市保健所 大会議室
主 催	健康増進課
出席者	別紙出席者名簿のとおり
議 題	協議 第三次健康づくり計画の策定について【資料1】
資 料	当日資料参照
傍 聴 者	一般0名 記者1名
作 成 者	健康増進課 主査 五十嵐

会議結果

- 1 開会 進行 【健康増進課 課長補佐 齊藤】
- 2 協議 座長 【山形市医師会 山口副会長】
第三次健康づくり計画の策定について **資料1**
資料に基づき事務局から説明。

質疑応答

【幹事】

- ・重要指標の基本施策4 女性の運動器疾患の割合について現状値18.3%とあり、中間評価と最終評価の目標値を「減少」としているが、具体的な数値で示したほうが良いのではないか。
- ・町内会、自治会などにおけるいきいきサロンに委員の皆さんも積極的に参加していただき、どのようなSUKSKに関する活動をしているか認識していただきたい。
- ・我が事・丸ごと地域づくり推進事業のような事業を通して、すべての市民が、いきいきと生きられる共生社会の実現に向けて様々な活動を行っているので、自分の地区の町内会、自治会の活動状況をぜひ御覧いただきたい。

【事務局】

- ・基本施策4の重要指標について、課題を見出す中で女性の運動器疾患の割合に改善が見られなかったため「減少」としているが、数値で表した方がより目標が明確になるため、具体的な数値も含めて再検討する。
- ・SUKSK生活推進の成果として、健康寿命の延伸や要介護2以上の認定者数の減少が挙げられる。成果が現れた要因として、SUKSK生活という市独自の考え方を提唱してきたことに加えて、市民の皆様が自発的に健康づくりに向けた取組みを推進していただいたことや、介護予防の取組みを自治推進員を中心に自治会の活動の中で実施していただいていることによる効果が大きかったと考えている。
- ・認知症の抑制には社会参加が大事であるという研究結果もあるので、今後はそういった自治会の活動を把握して、3月に新たに設置予定である健康医療先進都市専用のホームページ

ジ等で良い取り組みが市全域に広まるよう周知していきたい。

【幹事】

- ・要介護2以上になった人の中での原因疾患の構成割合で増減を見ていることにどのような意味があるのか。

その疾患の患者の増減を目標にするのであればわかるが、例えばある疾患の患者が減ったとしても、構成割合は増えることもあり得るので、これを重要指標として掲げて評価していることにどのような意味があるのか。

【事務局】

- ・御意見のとおりである。例えば運動器疾患で要介護2以上になった人数を減らす等、違う視点で再検討し、より適切な指標を2月の協議会でお示しし、また御意見をいただきたい。

【幹事】

- ・歯周病の予防に関する施策があるので伺いたいのだが、歯茎を磨くなど、歯磨きに関して有効な方法はあるのか。

【幹事】

- ・歯をなくす原因としてむし歯と歯周病が大体半分ぐらいの割合なので、歯も歯茎もどちらも磨くのがいい。また、歯磨き習慣をつけることが一番大事だと思う。

【幹事】

- ・SUKSKの効果をしっかり検証するには、SUKSKをやっている群とやっていない群での直接的な比較が必要かと思うがどうか。

【事務局】

- ・現在山形市が持っているデータは、いろいろな健康情報に関するデータがある中でごく一部のような状態である。2月5日にAIが検診データを解析して、個別最適なサービスを提供する新しいアプリを導入する。そういった新しい取り組みを通して、今まで得られなかった様々なデータをきちんと収集した上で、山形市の課題となっている疾病の発生要因や、SUKSKの効果が具体的にどのようなところに現れているのかを分析していきたい。そのような1つ1つの分析結果を毎年、協議会の幹事会や協議会できちんと説明し、よりレベルの高い分析結果をお示ししたいと考えている。

【幹事】

- ・市民の介護が必要になった疾患の推移について、男女共に認知症が1位となっているが、割合が男女で差が大きいのはなぜか。また、どのような方が認知症になりやすいのか。

【事務局】

- ・まだ分析しきれていない。来年度以降、様々なデータを活用し、この場で説明できるように調査分析のレベルを上げていきたいと考えている。

3 その他

次回の会議開催について

令和7年2月13日(木)午後6時30分より山形市健康医療先進都市推進協議会を予定している。

4 閉会